

通信SORA

住宅工房SORAとお客様を結ぶコミュニケーション情報誌

2006 10月号

社長のひとりごと

当社は住宅創りを生業としています。完成見学会や問合せでよく質問されるのが、「坪いくらですか」ということです。そのたびに、「坪いくら」というのは結果であり、仕事の範囲でぜんぜん違ってきますので一概に言えませんが説明します。新聞広告などで、〇〇スホーム坪29.8万円、〇マホーム坪26.8万円、という文字が躍っています。他社の悪口は言いたくありませんが、その広告で勘違いして契約し、後で後悔する方が多いのはあまり知られていません。家を造るのは一生に一度の方がほとんどですし、それを失敗したということは、自分の否を認めたことになるからです。国土交通省の調査で、注文住宅の平均坪単価は67万円と公表されています。それは住宅金融公庫の借り入れ申し込みのデータを見れば、いくら借りて何坪の家を建てたかということが、客観的データで明らかだからです。広告の裏面に見えるか見えないような小さな字で、別途工事の内容が出ていることは共通していることです。大きなハウスメーカーのスケールメリットで安くなる部分もありますが、あれだけ大々的に広告宣伝費を使っていれば、それが単価に跳ね返らないわけがありません。まして既製品を主体に家を造ると、メンテナンスのときに、「そのサイディングはもう生産終了になっています」とか、同じ部材が入手不可能になることがほとんどです。私たちはそのようなことがないよう、できるだけいつでも手に入る自然のものを主体にした家づくりを提案しています。初めて住宅を建てる方は、**予算がいくらでどういう家が建てられるか**、という検討をしたほうが、間違いなく後悔しない家づくりができると言えます。

代表取締役 田中 昭弘

今後のOMソーラー協会

OMソーラーの基本特許が今年で切れます。会員工務店の中でも、OMだけに頼らない営業展開を模索してきたところも多いようです。当社は協会に加盟してから今年で7年になります。入会のキッカケはお客様の家づくりでした。OMソーラーの仕組み、住まいづくりの考え方などに共感してのことでした。もともと会員工務店以外でも誰でも導入できるシステムなので、特許だから何もしなくても仕事が取れるとは思っていませんでした。むしろ、同一の価値観を持つ全国の工務店や建築家との交流により、当社の目指す方向を、模索し、見極め、挑戦するのに必要不可欠なことと思っていました。ですから、特許が切れるからと言って、特にどうと言う事は考えていません。しかし、協会の有り様は必然的に変わらなければならないと思います。今まで、OMソーラーを育み普及させるのに、協会の果たした役割は大きなものがあります。創始者たちが去った今、難しい舵取りが求められています。協会も特許に頼った活動をせずにOMソーラーというブランドを創ってききましたので、これからもそのイメージを守り育てていただきたいと思います。

A.T.

アンケートご協力、ありがとうございました。

通信SORA発行一周年アンケートへのご協力、ありがとうございました。拙い文章で読んで頂けないのではと思っていましたが、思いのほか多くの方から「楽しみにしている」とのご回答を頂き、身の引き締まる思いです。寄せられたご意見を参考に、できるだけ率直な気持ちを出していければと思っています。これからも引き続きよろしく願い致します。

10～11月イベントのご案内(申込み受付中!!)

10月29日(日) お掃除お手入れ教室 13:30～15:30(場所:浪江町、町頭の家-2)
プロはこう仕上げます!

シンクのステンレスを美しくよみがえらせたい、お風呂の水垢をスッキリ取りたい等、普段のお手入れではなかなか解決できないところです。暮の大掃除の前にプロの仕方をお教えします。参加無料です。お誘い合わせの上、お申込下さい。



11月19日(日) ジャズコンサート 18:00(開場) 18:30(開演)
ブルース・ヒューバナー(尺八)とカーティス・パターソン(箏)によるデュオコンサート。オリジナル曲、ジャズのスタンダードなどをベースに邦楽もおりませで演奏します。ジャズと邦楽の融合をお楽しみ下さい。

チケット:1,800円(前売り)2,000円(当日)

上記予定は変更になることがあります。詳細が決まり次第、DMなどでお知らせします。
申込・問合せ先:田中建設工業株式会社 住宅工房SORA 営業部 担当 田中
TEL 0240-34-6125 FAX 0240-34-6126

ガーデンデザインセミナー開催しました。

9月17日(日)、ガーデンデザインセミナーを開催しました。数年前、寄せ植え教室を開催したときのように、大勢の方にご参加いただきました。



前半は、庭づくりの基本的な考え方(ゾーニング・動線計画・配植計画)後半は、ハイドロカルチャーを実際に作ってみるという内容でした。

前半のお話は、机上のお勉強で少し抽象的なものになりがちでしたが、所々に施工事例などを盛り込んでいただき、具体的でわかりやすいと思いました。いろいろ質問も出ていました。後半はハイドロカルチャーづくりです。

皆さん寄せ植えは経験があったようですが、ハイドロカルチャーは初めての方がほとんどで、材料の特徴、植え方、管理の仕方など勉強しました。特に今回は、容器の中に植え込むという、普段あまりやれないものだったせいか、和気あいあいとした中にも真剣に植え込んでいました。ガーデニングセミナーはいつも人気があるようです。



最近では予算の関係で、「庭づくりは数年後、別途で進める」というケースが増えてきています。ご自身でガーデニングするのであれば提案だけに止めますが、専門工業者に頼むのであれば、家の完成と同時に庭も完成するよう計画することをお勧めします。家は外との繋がりがあって初めて生きてきます。

完成見学会、内覧会ときには、家だけではなく庭も含めた全体を見ていただくようにしなければと改めて感じました。

講師:下村 篤(株式会社 丸富)
協力:エイコンファーム